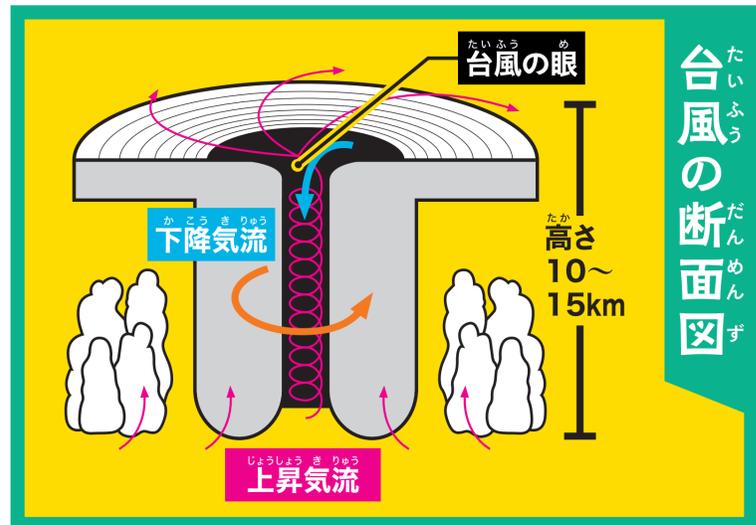


台風

台風は太平洋赤道付近の暖かい海水が蒸発して発達した積乱雲がたくさん集まり、そのうちに一方向に回り始めることで強い雨や風を生み出します。日本には夏から秋の間に多く上陸します。

台風の風速(風の強さ)は10分間の平均であるため、最大瞬間風速(一番強い風)は風速の1.5倍から3倍にもなります。また、風速が2倍になった時、風圧(風がものを押す力)は4倍に、風速が4倍になった時、風圧は16倍にもなります。このせいで車や屋根などが飛んでしまう被害が出ます。



台風が起きたら...

洪水ハザードマップを確認しましょう

おうちが浸水想定区域なら

避難しましょう

おうちにいましょう

おうちが浸水想定区域外なら

おうちにいましょう

浸水

突風

川の氾濫

平時から確認しておくことが大切です

阿南市の浸水域

洪水による氾濫などが起きた時にスムーズに避難できる、または被害を少なくできるように阿南市では浸水が想定される区域の情報を公開しています。

浸水想定区域の場所にいるときにもし川の氾濫が起きたら、逃げる方向など避難の参考にしましょう。

阿南市では「桑野川」「那賀川」「福井川」が大雨の際に浸水の可能性があるとしてされています。右の地図は



「桑野川」と「那賀川」の浸水想定区域を示した「洪水ハザードマップ」です。青・水色が浸水する可能性が高い地域になり、赤い矢印は逃げる方向を表しています。台風の際は天気予報をこまめに確認し、早めに避難するようにしましょう。

おおあめ 大雨

夏から秋にかけて、日本列島に接近・上陸する台風が多くなり、大雨・洪水・暴風・高波・高潮などをもたらします。最近では、短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨が頻発し、特に宅地等の開発が進んだ都市部では、川の急激な増水や道路や住宅の浸水、道路のアンダーパス等の地下空間の水没といった被害も発生しています。

大雨などの水害が発生した時、気象庁が土砂災害・浸水害・洪水災害発生の危険度の高まりによって、防災気象情報を発表します。気象状況によって、段階的に発表される情報を確認して、避難行動の参考にしましょう。



ぼうさいきしやうじやうほう 防災気象情報

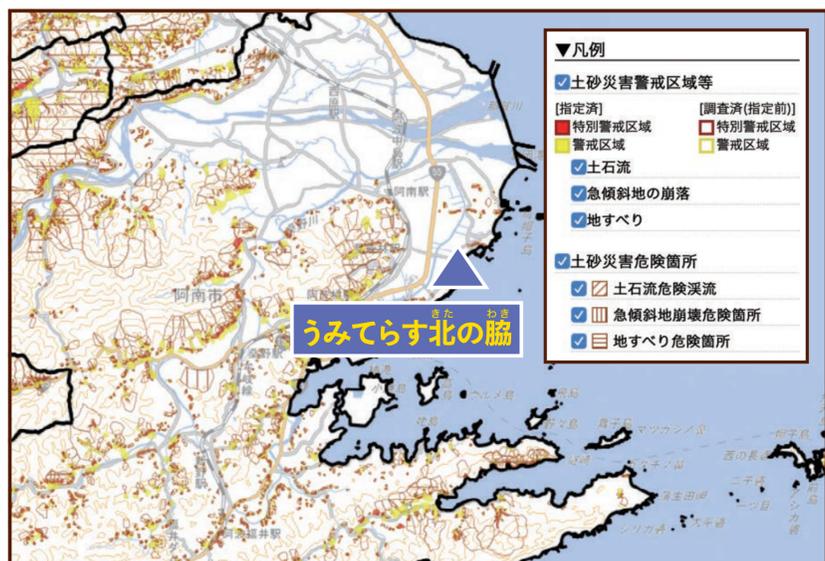
気象状況	気象庁等の情報	住民が取るべき行動	警戒レベル
大雨の数日～約1日前	早期注意情報(警戒級の可能性)	災害への心構えを高める	1
大雨の半日～数時間前	大雨注意情報 洪水注意情報 高潮注意情報	ハザードマップ等で避難行動を確認	2
大雨の数時間～2時間程度前	大雨警報 洪水警報 高潮警報	土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住まいの方は、避難準備が整い次第、避難開始 高齢者等は速やかに避難	3
大雨の発生中	土砂災害警戒情報 高潮特別警報	速やかに避難 ・危険な区域の外の少しでも安全な場所に速やかに避難	4
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	避難を完了 ・道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく 危険な区域からまだ避難できない方は、命を守るための最善の行動をとる ・大雨特別警報発表時には、災害が起きないと思われているような場所でも危険度が高まる異常事態であることを踏まえて対応する	5

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意情報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。
※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意情報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。
「避難勧告等に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

あめふかた 雨の降り方

20～30mm 強い雨	30～50mm 激しい雨
50～80mm 非常に激しい雨	80mm以上 猛烈な雨

あなんしどしゃさいがい 阿南市の土砂災害



土砂災害とは大雨や地震などが引き金となって、山やがけが崩れたり、水と混じり合った土や石が川から流れ出たりする災害です。阿南市では土砂災害が発生する可能性のある場所をハザードマップとして公表しています。

【土砂災害の前兆現象】

- がけや地面にひび割れができる、がけや斜面から水が湧き出る
- 小石がバラバラと落ちてくる、地鳴り・山鳴りがする
- 降雨が続くのに川の水位が下がる